

県教育委員会の

国際教育交流

について

県教育委員会では、教育振興基本計画に掲げる「世界を舞台に活躍する人材の育成」を目指し、その取り組みの一つとして、子どもたちの国際感覚や多文化理解を向上することを目的とした国際交流を推進しています。本号では、県立千葉商業高等学校の取り組みを紹介します。

県立千葉商業高等学校

台湾との交流

昨年12月に千葉県国際教育交流事業（台湾との交流事業）に千葉商業高校の生徒を含む10名の県立学校生徒が参加しました。台湾の商業高校や史跡、観光施設等で様々なことを体験的に学びました。

今回は昨年訪問した台湾桃園市の中壢商業高級中等学校ちゅうれきの生徒31名を千葉商業高校が受け入れ、交流を行いました。授業や体験学習を通して生徒が触れ合い、日本と台湾の相互理解を深めました。

歓迎セレモニー



【中壢商業高級中等学校の紹介】

吹奏楽部の演奏と全校生徒の拍手に包まれ、台湾の生徒31名が入場しました。とても温かい雰囲気歓迎セレモニーが行われました。

【鈴木校長先生の話】

東日本大震災で日本が台湾から物資の援助を受けたことや、コロナ禍で日本が台湾にワクチンを供給したことなど、日台の深い友好関係を話されました。



【記念品交換】

千葉商業から中壢商業に兜が、中壢商業から千葉商業に校名入りの盾と旗が贈られました。

【生徒会長の話】

「学校の特徴である『社会人としての挨拶』をきっかけに、台湾の皆さんとコミュニケーションを深めたい。」

【中壢商業代表生徒の話】

温かい歓迎を受けた感謝や今回の訪問を楽しみにしていたことなど、全て日本語で話してくれました。

交流当日の日程

9:45~10:35	歓迎セレモニー
10:45~11:35	商業科授業体験
11:45~12:35	日本文化体験（茶道・華道）
13:20~14:10	英語授業
14:20~15:00	吹奏楽部と交流

商業科授業体験



スマートフォンやパソコンを活用して中国語で自己紹介を行うなど、コミュニケーションを深めながら一緒に授業に参加しました。

華道・茶道体験



2グループに分かれ、華道と茶道を体験しました。茶道では茶道部の生徒が中心となり、通訳の方を通じて作法を教えました。華道では先生の説明の後、華道部の生徒がサポートしながら、思い思いに花を生け、最後に作品と一緒に写真を撮りました。

ランチタイム



食堂にたくさんの生徒が集まって交流していました。日本食のお弁当を喜んでくれました。

英語授業



千葉商業と中壱商業の生徒でグループを作り、英語で互いの好きなもの、文化の違い等についてコミュニケーション活動を行いました。

吹奏楽部と交流



吹奏楽部の活動を間近で見学しました。一緒に歌ったり踊ったりしながら、日本の部活動を感じることができました。

千葉商業の多くの生徒たちは、授業以外でも休み時間などに気軽に台湾の生徒たちに英語で話しかけていました。今回の交流をとおり、千葉商業高校と中壱商業高級中等学校の関係をより深めることができました。

お問い合わせ先：企画管理部教育政策課 政策室 電話 043-223-4177